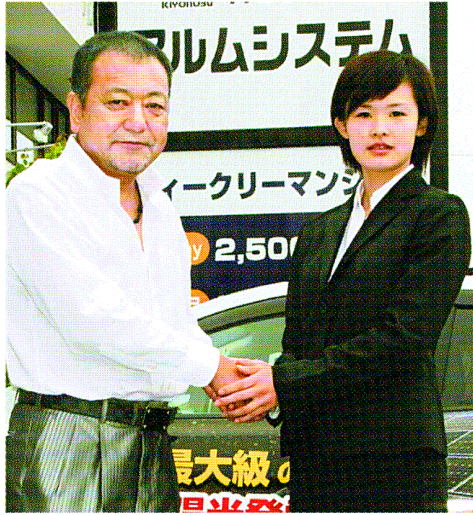


スケート

郷アルムシステムへ

白樺学園高出「来季W杯が目標」



アルムシステムへの所属が決まり握手する郷亜里砂と清信祐司社長（右から）

終わったため契約も終了。この2カ月は親からの仕送りや貯金を切り崩しながらの生活だった。同高スケート部OBでW杯にも出場した道東電機の佐藤睦浩社長らの紹介でアルムシステムと契約した。郷は「競技に専念できて幸せ。来季W杯のメンバー入りが目標」と意欲を見せる。清信社長も「地元で根差している企業として応援したかった」と話している。（北雅貴）

スピードスケートの昨季ジャパンカップ女子5000メートル総合1位の郷亜里砂(24)は白樺学園高出2の所属先が、帯広市内の不動産賃貸業のアルムシステム(清信祐司社長)に決まった。契約は7月1日から。3月末で山口スケイティングクラブ(SC)との契約が切れていたため、郷は「ほっとした。良い成績を残して恩返ししたい」と笑顔を見せた。郷は根室管内別海町出身。白樺学園高ではインターハイで上位入賞、山梨学院大では全日本学生スプリント選手権総合1位に輝いた。同大卒業後は山口県の国体強化選手として山口SCに。2011年に同国体が